

2015年（平成27年）7月2日 木曜日

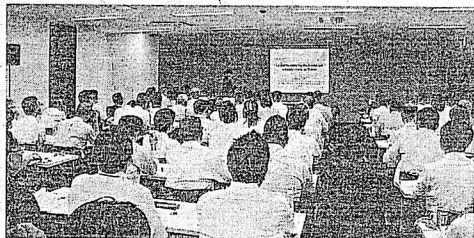
## 名古屋で講演会 リサイクル重要

レアメタル資源  
再生技術研究会

【名古屋】レアメタル資源再生技術研究会は1日、名古屋市中村区のウイंकあいちで第10回研究会を開催した。レアメタル資源リサイクルビジネスの国際展開―日本からアジアにむけて―をテーマに4人の講師による講演会が行われた。

冒頭、藤田豊久会長（東京大学教授）があいさつに立ち「今回は記念すべき10回目の記念講演になる。レアメタルショックを再び起こさないためには、資源開発や鉱山開発を進めるとともに、リサイクル技術を開発することが非常に重要だ」と訴えた。

講演会では台湾國立成功大學の陳偉聖教授が「台湾における太陽電池製造廃棄物からのカリウムとインジウムの回収」をテーマに講演。引き続き、石油天然ガス・金属鉱物資源機構・金属企画部の大橋良輔部長が「JOGMECにおけるレアメタル等鉱物資源開発と資源リサイクル」、東京大学大学院の村上進亮准教授が「マテリアルフローから見た資源リサイクルビジネスのグローバル化の現状と可能性」、リサイクルテック・ジャパンの高取美樹社長が「手解体によるレアメタル・貴金属の高収率リサイクルシステムとリユースの展開」と題した講演を行った。



講演会の様子